

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いろは		
○保護者評価実施期間	R7年 3月1日 ～ R7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	R7年 3月1日 ～ R7年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や日々の変化・状況に合わせて手厚い支援の提供を心掛けていること	・だいたい子ども二人に対して一人の配置体制のため、子どもの特性やその日の状況に合わせた支援や個別活動、安全見守りができていると思う。	・子どもの安全確保やきめ細やかな支援を継続していくため、人員の確保に努める。 ・より専門的な知識を身につけられるよう研修の機会などを増やしていく。
2	日替わり集団活動を設定し、様々な年代の児童が遊びを共有し、子どもたちの仲が良いこと	・利用する子どもの特性や人数等を踏まえて毎日集団遊び活動を考え、活動が固定化しないよう工夫している。 ・チーム活動などで子どもたちが幅広く関わりを持てるようにする事で仲を深められ、皆仲が良くアットホームな雰囲気だと思ふ。	・活動が固定しないように、新しい活動を提案していく。 ・子どもたちの学校以外での安らげる場所としてホッとできる雰囲気作りに努める。
3	家族の方との情報共有、相談に応じて迅速に対応すること	・連絡帳やライン連絡、電話や送迎時のお話等でこまめに情報の共有を行うようにしており、職員間でも共有して可能な限りその日のうちに支援方法や改善策を検討している。	・職員間での情報の共有も徹底し、皆で連携してより良い支援の提案や意見交換をし合う。 ・どの職員でも丁寧な説明や相談ができるような教育を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災対策や訓練実施等の周知が不十分なこと	・マニュアルの多さから、全てを説明しきれない部分もある。 ・イベント活動として訓練の予告行ったが、参加児童しか実施の様子もわからず、未参加の方々への周知ができていなかった。	・説明を効率よく行えるようなフローチャート等を作成する。 ・メンバーズサイトでの活動報告等の発信をこまめに行う。
2	地域交流や家族の学習会、交流ができていないこと	・交流を望まないご家族もいる中で事業所としての方向性が定まっていない。 ・地域の情報収集不足。	・イベント活動等で近くの公園等から交流を増やしていく。 ・家族のニーズや意見を聴取したり、地域の情報収集を行う。
3	広さの基準は満たしているが、収納が少なくごちゃごちゃしていたり、活動内容によってはフロアが狭く感じる	・収納不足、物が多い。 ・活動時間が限られた中（活動の流れ上時間が重なったり、人数が一時に増える等）で、密集してしまう。	・建物の構造を変える事はできないので、不必要な物は定期的に廃棄し物を減らす。可能な範囲で収納を増やす。 ・活動時間の配分や遊び方を考え直す。